



洞爺湖町

議会だより



希望もふくら
んで花も咲く

- 第1回定例会議案審議等2
- 委員会活動レポート3
- 一般質問・10名4~13
- 議会報告会14・15
- TPP集会レポート・災害時相互応援協定調印式・
表紙絵作者紹介・編集後記等.....16

No.24

3月定例会

2012.5

平成24年第1回定例会

総額101億4,900万円の予算を可決

平成24年第1回定例会が3月5日から16日までの12日間の会期で開催されました。

町長の町政執行方針、教育長の教育行政執行方針がそれぞれ示され、平成24年度の各会計予算案が提案されました。予算は、議長を除く全議員による予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、一般会計他、5特別会計、1事業会計を原案通り可決しました。

その他、条例等の制定、改正15件、規約の変更1件、財産の取得1件、平成23年度補正予算6件を原案通り可決。

また、10人の議員が一般質問を行ない、町長の考えをたてました。（平成24年度各会計予算概要―別掲―）

主な議案の審議内容

条例などの制定・改正

●洞爺湖町行政組織条例制定

：総務部、経済部、洞爺総合支所の3部制の導入。またジョパーク推進課、産業振興課、総合支所に農業振興課、庶務課をそれぞれ新設。

●洞爺湖文化センター条例の制定：利用率の向上のため、社会教育施設から観光振興施設に変更するもの。

●洞爺湖町特別職の職員、教育委員会教育長及び、一般職員の給与等に関する各条例の一部改正：財政健全化推進の一環として特別職の給与を20%、一般職員の給与を平均10%削減することなど。

●洞爺湖町税条例の一部改正：たばこ税率の引き上げ。個人町民税均等割を平成35年度まで500円引き上げなど。

●洞爺湖芸術館条例の一部改正：町民の観覧料を無料に。

●介護保険条例の一部改正：介護保険料の基準額を500円引き上げて3,800円に。

予算審査特別委員会報告

平成24年度各会計予算は、議長を除く13名の議員で構成する予算審査特別委員会を設置して、3月13日～15日の日程で審査を行い、全会計とも原案のとおり可決しました。

◆平成24年度各会計予算概要

（単位：千円、%）

会計名	24年度予算	23年度当初予算	比較増減	増減比
○一般会計	6,351,848	6,610,132	△258,284	△3.9
○特別会計				
国民健康保険	1,536,031	1,528,529	7,502	0.5
公共下水道事業	786,353	864,715	△78,362	△9.1
介護保険	861,653	824,510	37,143	4.5
簡易水道事業	82,101	89,589	△7,488	△8.4
後期高齢者医療	154,199	138,265	15,934	11.5
○水道事業会計				
収益的収支	214,008	241,100	△27,092	△11.2
資本的収支	162,788	321,428	△158,640	△49.4
総計	10,148,981	10,618,268	△469,287	△4.4

●その他改正等

・児童福祉法改正に伴う関係条例の整理・町営住宅条例の改正・町公園条例改正・北海道市町村総合事務組合規約の変更など。

議員発議

●洞爺湖町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正：期末手当加算分15%と期末手当の25%削減。

●その他改正

・町議会委員会条例、町議会会議規則の一部改正

財産の取得

●入江高砂貝塚公園指定の民地9、198平方メートルを8、756万円で購入。

補正予算

●一般会計：歳入歳出にそれぞれ2、646万円を追加。農

意見書

●原子力発電に依存しないエネルギー政策を求める意見書（案）：可決

常任委員会活動レポート

総務常任委員会

★調査事項 町民と議員との懇談会における質疑・要望事項等の主な調査

★調査日 1月16日（月）2月1日（水）2月23日（木）

★主な調査項目

- ① 洞爺診療所の再開の見通しと地域住民の利用について
- ② 住民の利便性から、路線バスの接続時間の改善を求める要望について
- ③ 防災行政無線の改善を含む、町の防災計画見直しの状況について

★調査結果の意見概要

洞爺診療所について診療報酬改正にともない、病院本体の経営状況が厳しいもとで診療所を再開する状況にはないが、診療所の後利用について住民の意向も確認し早急に検討を始めるべきである。路線バスの接続時間の改善について町がすでにバス会社に改善

を申し入れたことは評価するが、バス交通網（定期バス・町内巡回バス・スクールバス等）の現状を把握し有効的な活用を検討すべきである。防災計画見直しについては、3・11以降の津波災害の当町の対応における教訓や反省を踏まえ、出来る事から順次改善見直しを行うべきである。



現在使われていない洞爺診療所の建物

経済常任委員会

★調査事項 町民と議員との懇談会における質疑・要望事項等の主な調査、町内各産業

団体の現況調査、町発注による建設工事の進捗状況及び竣工状況、大磯漁港建設工事の進捗状況

★調査日 1月17日（火）2月16日（木）2月28日（火）

★主な調査項目

- ① キャンプ場の雑廃水が一部川に流れているようなので改善してほしい。
- ② 小有珠川や西山川の泥流路の中や川端に雑草や灌木が生えている。清掃や伐採などを関係機関に要望してほしい。
- ③ 町内各産業団体の現況調査
- ④ 町発注による建設工事の進捗状況及び竣工状況
- ⑤ 大磯漁港建設工事の進捗状況

★調査結果の意見概要

小公園キャンプ場の古い炊事場においては、雑廃水が直接そばの川へ流入していることから改善すべきであり、曙公園キャンプ場の炊事場においても、下水枡の清掃を定期的に行うなど、町として適正な管理に努められたい。泥流路については、大雨が降るたびに雑草等が湖に流れたり、

景観の悪化が懸念されることから、管理者である北海道へ



改修された温泉駅前棧橋近くの公衆トイレ

の泥流路の定期的な清掃等をされるよう要望されたい。産業団体からは、花と緑の町づくり活動の継続、トラックの規制、空き店舗・廃業のホテル対策、スポーツイベント誘致、身障者用のトイレ整備、洞爺地区の夏イベントの継続補助の要望が出された。駅前棧橋のトイレ改修がなされたが、外国人観光客のためにも外国語（英語・韓国語・中国語等）の案内看板を早急に設置されたい。大磯漁港は、平成23年度までの施工状況が86%であり、平成25年度完成予定だったが、震災の影響で平成26年度へずれ込むとのこと。

議会のしずく

2月

1日	総務常任委員会
3日	上富良野町議会行政視察
7日	全員協議会
16日	経済常任委員会所管事務調査（観光協会・温泉）
21日	会派代表者会議
23日	3町議会議員TPP問題研究会
28日	例月出納検査・随時監査
29日	議会運営委員会
1日	伊達火災公害防止対策連絡協議会（伊達市）
5日	第1回定例会
12日	TPPから食と地域を守る集会（苫小牧市）
23日	経済常任委員会
26日	例月出納検査
27日	正副議長・委員長会議
28日	議会報告会
4月	6日～9日
11日	香川県三豊市との災害時相互応援協定調印式
13日	全員協議会
20日	議会広報常任委員会
25日	全員協議会
27日	例月出納検査
28日	議会広報常任委員会
29日	会派代表者会議



新年度に向け、疲弊した町の経済をどう立て直すのか

小 松 晃 (町民連合)

質問 1

平成24年度執行方針について

問 早期健全化団体から脱却のめどがたつた新年度に向け、疲弊した町の経済をどう立て直すのか。

答 観光をはじめ各分野において、若い方が一生懸命働き活躍してくれており、町に活気ある事業が芽生えてきている。今年度はこれら若者に元氣が出る施策に力をそそいでいきたい。

問 雇用対策や地域経済活性化対策に向け、これをどう予算に反映させたか。

答 雇用対策では、緊急雇用創出対策事業等で10人の雇用創出を、地域経済活性化対策では、道の駅とうや湖の増改築、また、地産地消の推進を図るため設立された組合の運営も支援していきます。

経済の底上げ対策として、好評の住宅リフォーム支援事業を今年も実施します。



町のイベントを盛り上げる若者たち

高砂公園のトイレ改修、噴火記念公園の遊具の増設、温泉中央公園の改修等も実施して参ります。

問 道道洞爺峠田線（インター1通）の延伸整備に向け、この1年間どう取り組んだのか。

答 この道路は、次の噴火に備えた避難道路として重要な路線となることから、町道峠田ビワオク線・旧国道230号を経て37号線まで接続させるよう、今後も道や国に対し強く要望して参ります。

問 次期の噴火に向けた避難対策や避難訓練をしてお

く必要があると思うが。

答 地域防災計画の見直しを行っており、関係機関との協議もすすめています。

有珠山噴火に向けた避難訓練は、平成22・23年度に有珠山火山防災協議会の総合訓練と合わせて、住民の避難訓練も実施しました。避難所の指定等、住民が分かりやすい看板の設置や、海拔の表示も合わせて実施します。

先日開催の自治会長会議で、町の防災対策、意識付けの強化など、自治会の協力をお願いしております。

問 慢性的に約3分の1が未納となっている国民健康保険税の収納向上対策は。

答 町民が公平に納税し、悪質な滞納者には法的措置も講ずる等、徹底した取り組みをします。

町税全体では、平成24年2月末まで、46件の差し押さえを行い、987万7千円を換金しています。収納率では、現年度分95%、滞納分15%を確保すべく努力しているところです。

質問 2

小学校の統合等を検討する時期ではないか。

問 人口減と少子化で児童生徒数が激減しており、今から検討しておく必要があるのではないか。

答 老朽化や耐震基準に満たない学校施設もある一方、児童生徒数の大幅な減少もあることから、学校施設検討会を設置し、施設の現状と課題、子供たちにより望ましい学校のあり方について協議頂きたいと考えます。



避難施設が併設された洞爺湖温泉小学校



町民の本当の幸せは まちづくりにGNH（国民総幸福量）思想を

佐々木 良一（有志会）

質問 1

まちづくり について

問 まちづくり基本計画の見直しは、もっと時間をかけて論議すべきでは。

答 新しい審議会委員さんには、短期間で見直し等は大変ご苦勞頂きました。今後基本計画のみならず、しっかりと議論を深めていただきたいと思っています。

問 新たな定住と交流を生む都市基盤づくりの特色は。

答 住生活基本計画策定や、防災体制の充実を図るため、今年度地域防災計画の見直しや、津波ハザードマップ・避難計画を策定します。

自然再生

エネルギー

問 伊達市次世代エネパークと西胆振6市町自然エネルギー利用検討会との連携は。

答 地域、市町によって特色のある地下資源を、連携をとりながら西胆振として検討していきます。

問 自然エネルギー利用に関しては、積極的に具体的な施策を掲げて働きかけていくことが必要ではないか。

答 地熱については可能性があると聞いているので、近隣と協議しながら調査に入りたいと考えています。

問 若者による異業種間交流支援の内容は。

答 地域に住む若者の活性化が重要で、今活躍されている若い芽を、今年度重点的に支援して参ります。

映画

「しあわせのパン」

問 「しあわせのパン」効果を地域活性化、まちづくりにどう向けていくのか。

答 周辺の誘導板、案内板等の設置を23年度事業として進めています。また口ケ地マップ、記念ポストカード等を札幌圏、東京圏で配布します。

す。

これからの動向とあわせて観光協会と今後の対応を考えて参ります。

問 まちづくりの観点からも千載一遇のチャンス。関係者や地域の方々の協議の場を早急に作るべきでは。

答 周辺の方々との話し合いが必要と考えていますので、議会終了後、早急に対応いたします。

問 地域担当職員制度の見直しと活用は。

答 制度の見直しというより、職員の心構えということとで考えています。今後職員の意識調査や課題等の検証、そして自治会連合会の意見を伺いながら取り組んで参ります。

問 今後のまちづくり審議会の活用、町内外の人材を活用した町政ブレンづくりについての考えは。

答 まちづくり審議会を基本に考えています。また、町内外の方々の意見を聞ける場を、形あるものにしたと考えています。



観光情報センターに設けられている「しあわせのパン」コーナー

問 GDP（国内総生産）、経済成長一辺倒の考えから、モノや経済の豊かさではなく、本当の幸せとは何か。プータン政府の行っているGNH（国民総幸福量）思想を取り入れた新たなまちづくりの考えは。

答 新しい意見、外から見た目でこの町がどうしているのかが良いのか、色々な意見を聞きながら町づくりに努めて参ります。



3・4・7 海岸通完成は 漁業活動拠点の早道に

松井 保明 (侑志会)

質問 1

公文書の取り扱いについて

問 町として公文書の保存、管理、作成についてはどうあるべきと考えているか。

答 洞爺湖町文書事務取扱規定の中で、文書の分類、保存年限、管理の方法等の対応をしています。国が示している市町村への努力義務については今後検討致します。

問 公文書を町民の共有財産として取り扱うのは、今後どうあるべきと考えるか。

答 国の法律（公文書管理法第4条）に沿わなくても、当町の公文書管理規定で十分であると考えています。

問 公文書管理条例制定についての考えは。

答 公文書管理条例制定に関しては、今後の課題として検討して参ります。

質問 2

都市計画道路（3・4・7 海岸通）について

問 3・4・7 海岸通の工事内容は。

答 主な計画は次の通り。
延長 1,260 m
幅員 W 12・75 m
車道幅員 8・75 m
海側管理幅 10・5 m
山側管理幅 3・5 m
用地取得対象者は10件となっています。



都市計画道路 3・4・7 海岸通予定地

問 着工時期の見通しを伺いたい。

答 事業期間は平成24年度～28年度までの5カ年を予定しています。平成24年度は用地確定測量、実測実施設計、支障物件移転調査の実施を致します。26年度以降は事業の進捗状況に応じて、工事に着手致します。

問 事業に対する町財の投入と、その効果は。

答 全体事業費は約4億4千万円。国費率は65％で、残りの35％に対して※地方債を充当。充当率は90％となっています。この事業を進める事による町財政への影響は、実質公債費比率で0・2％程度であり、大きなものとはならないと考えています。3・4・7 海岸通については、まちづくり総合計画の中で、交通網の整備として主要施策として位置付けられています。大磯漁港完成時に、同漁港に接続され、平常時の使用はもとより、噴火時における漁港使用のためにもすみやかに整備を進める必要があると考え

ています。

問 3・4・7 海岸通の、まちづくり総合計画の中の位置づけは。

答 2月に実施した「まちづくり審議会」において「休止していた海岸通について、施策の見直しにより追加」した旨を説明し、同審議会の了承を頂いたところです。

※地方債（ちほうさい）とは
普通地方公共団体が発行する公債である。

債務の履行が一般会計年度を越えて行われるものであり、証書借入れ、地方債証券、振替地方債の3つの方式がある。

地方自治法に基づき地方財政法で規定される。なお、地方債の一部には、国からの財政措置がある。公債（こうさい）

国や地方公共団体が、資金調達のために行う債券の発行または証書借入れによって負う金銭債務またはこれに係る金銭債権をいう。



人間らしい高齢者の尊厳を確立する 「介護者支援条例」の策定を

立野 広志

質問 1

ジオパークの推進と地域ぐるみの防災活動の推進について

問 再認定までに、世界ジオパーク認定地域としてどのような活動を考えているか。

答 ジオパーク推進課を設置し、しっかりとした事務局体制で次の再認定の基準をクリアする施策に取り組みます。

問 ジオパークの理念をとらえ、地質・自然・歴史・人間の営みを知り、暮らしに活かすこと。地域ぐるみ、住民全体で取り組む努力が将来の災害への備えともなりうる。子どもたちや地域住民に防災教育を推進し、災害時における支援の方法について学校教育、地域講座、健康づくりやイベントなどの機会を設けて準備すべきではないか。

答 ジオパークをさらに住民に知って頂くための事業を展開し、防災に関しても取り入れていくよう考えていきたい。まちづくり総合計画の

基本計画を修正する中で、災害に強いまちづくりとして、新たに24年度以降の主な事業、施策について盛り込んでいく考えです。

質問 2

住宅リフォーム支援事業を改善し、更に大きな経済効果を生み出す努力を

問 制度の改善を繰り返して求めてきたが、この検討結果は。

答 基本的には、50万円以上ということでは平成24年度も実施します。他制度との併用については、補助金を除いた工事費50万円以上について助成するとともに、対象事業の範囲も、外構工事(門、塀や造園工事にも広げる考えです。

問 少額リフォーム工事や他助成併用工事にも適用させ、波及効果・経済効果を広げる努力が必要である。そのために、利用者や利用できない町民、事業者の声を積極的に聞いて、更に有効な改善

をはかるべきではないか。

答 町内において、それなりの経済効果があることを率直に認めるところであり、指摘事項については十分検討して参ります。

質問 3

町高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画について

問 町のアンケート調査は、調査票の記入方法や扱い方がわからないまま返信できなかった方々の意見が反映されていないのではないかと。

答 不十分な点については、今後、2次予防事業対象者把握事業を実施する中で、65歳以上の高齢者に対する実態を調査することになっており、基本チェックリストをつくり生活機能の低下状況を把握した中で、ニーズに合ったサービスの提供をおこないます。



問 サービスの利用計画とその実績とのかい離の原因、特養入所待機者の自宅待機者の実態など、実態把握は行われているか。

答 担当と介護保険運営協議会の中で分析しています。計画策定後、事業者の縮小で利用環境が整わなくなったことによる達成率の減少が見られます。また、特養待機者の内、在宅が12名ですが、その実態を把握しながら圏域内の施設整備の中で待機者を解消するために努力します。

問 介護を抱えこんでいる家庭の問題が潜在化しており、介護をサポートするシステムとしての「介護者支援条例」(仮称)を検討すべきです。
答 これまでの支援事業のほか、家族介護支援システムの構築を図って参ります。



雪国、洞爺地区の 除排雪の対策は

岡 崎

訓 (町民連合)

質問 1

交通安全対策 について

について

問 洞爺いこいの家の前の交差点に、一時停止の標識板の設置をすべきではないか。

答 町道洞爺10号線からいこいの家に侵入する道路は、公共施設内通路です。公安委員会による一時停止標識の設置は難しい。ただ、町としても観光シーズンに車両の通行も大変増加し、危険性も高まりますので、伊達警察署のアドバイス等も受けながら、町独自の注意の看板の設置を考えております。

問 洞爺2号線と洞爺8号線の交差点は小学生が登下校する交差点なので、8号線側の一時停止の標識板を見通しの良い位置に移設を。

答 現在、一時停止標識については、電柱を利用して設置をしております。建物に近く、幾分見えにくい状況もあり、公安委員会設置の標識ですので、公安委員会との協

議が必要です。伊達警察署と対応を検討させて頂きます。



洞爺8号線と洞爺2号線の交差点

質問 2

雪国、洞爺地区の 除排雪について

問 現在町道の除雪はどのような体制か。

答 洞爺地区の除雪の出動基準は、新雪除雪は積雪が10センチを超えた時、積雪の深さが10センチに満たない場合でも、翌朝までに15センチ

を超えるると予測される場合です。また、風雪、地吹雪等で吹きだまりの発生が予測される場合、雪質により積雪が10センチに満たない場合でも、一般交通の支障が予測される場合となっております。また道路パトロールにより路面整正や拡幅除雪を実施しております。

洞爺地区の除雪体制は、町直営は市街地と曙、岩屋を中心に、他地区は業者委託で実施しております。

通常の新雪除雪は、委託路線は専用トラック等の体制で除雪作業を行っております。

問 町道での排雪の状況について伺います。

答 積雪の増加で交通における有効視界範囲が低下するおそれがある場合と、堆積スペースの確保が困難となるおそれがある場合の基準で排雪の実施をしております。

例年になく積雪量のなか、安全確保のため、排雪作業を実施いたしております。

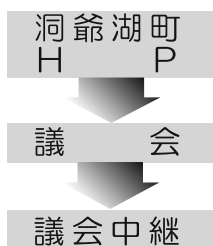
問 道道の市街地の除排雪の状況は。

答 道道豊浦洞爺線市街地区間の歩道については、室

蘭建設管理部洞爺出張所において、定期的にパトロールを行い、状況を確認し、排雪を行っております。1月も排雪を行っております。町道と同じように、2月も排雪が実施され、積雪のない状況となっております。北海道においても除排雪の出動基準に基づきまして現地確認等を実施した中で、予算状況を勘案しながら除排雪作業を実施していただいております。町としても、地域住民の生活に支障を来さないよう、今後も洞爺出張所との連携を密にしながら、要請も行なっております。

本会議をインターネット中継

是非一度、
議会HPに
お越し下さい。



自然エネルギー利活用！ 自然の恵みを町の恵みへ

下道 英明（町民連合）



質問 1

教育行政について

問 昨年から2年間、虻田小学校6年生による総合学習で「洞爺湖町の過去・現在・未来を考える」をテーマに本会議場で発表会があったが、この取り組みをどう評価するか。

答 2年連続で実施され小学生の目線で学習し、町を勉強したことは大変よいことであつたと思います。

問 以前、児童の目線からの町づくりで「子ども議会」をご提案しました。町内3つ

の小学校合同実施は難しいが、とうや小学校、温泉小学校の単独実施か2校合同実施など発表校を増やせないか。

答 各学校の総合学習の時間は、各現場においてそれぞれの学校がその時々になさわしいものをテーマに取上げております。まずは、虻田小学校関係者と教育委員会が今回の発表の課題、問題点を検討し「子ども議会」の意味、意義を考えて段階的に進めて参りたいと思います。

問 昨年、全町の中学生が一緒に修学旅行が出来ないか、交流事業の一環として箱根町への合同親善旅行が出来ないか質問した。昨年の各学校の修学旅行の人数は。

答 虻田中学校は50数名、洞爺湖温泉中学校と洞爺中学校は各10名を切る人数です。3校合同修学旅行は難しいが、虻田中学校と温泉

中学校、温泉中学校と洞爺中学校による合同修学旅行実施には何か弊害があるのか。

答 学習指導要領の中で修学旅行は、特別活動として位置づけられ、豊かな自然や文化に触れる体験を通して人間関係を深めながら楽しい思い出を作ることです。この観点から学校独自のものという認識でございます。

質問 2

町内の自然エネルギーの利活用について

問 平成21年度に「洞爺湖町地域エネルギービジョン」を策定しました。新エネルギーの導入体制など丁寧なまとして、大震災以降、電力会社と情報、意見交換などは行ったか。

答 電力会社にはそのようなアプローチはおこなって

おりません。

問 洞爺湖の水流を利用し大きな落差のある水路を活用した中小水力発電では、町内消費電力の18%をカバーできると試算されています。地元電力会社に水力発電所の出力アップ、設備投資の誘致など積極的にしてはどうか。財政健全化への稼ぐ政策という視点はないか。「自然の恵みを町民の恵みにかえる」施策ができないか。

答 町内でも風力、太陽光につきましては、町と事業者と協議をさせて頂きました。水力の問題では、ジオパーク関連で遠軽町の小型水力発電所の状況を確認しています。小水力発電所では、修理補修に膨大な費用がかかり国・道に対して改修のための補助予算を要望していますが、なかなか認められていないのが現状とのことです。今後、小型小水



高知県梶原町（ゆすはら）の小水力発電施設

力発電所の事例を調査しながら維持管理のコスト面等々も視野にいれ、町にとって有利になるものであれば検討したいと思います。また、町では、二酸化炭素削減に取り組み、洞爺湖温泉の低炭素地域づくり事業として、熱源ヒートポンプの導入など今後も継続して自然エネルギーの利活用に向けて参ります。

24年度洞爺湖温泉の宿泊者数 55万人に回復見込み

七戸 輝彦（公明党）



質問 1

平成24年度町執行方針について

問 町制執行方針の中の、「漁業経営がひつ迫する懸念」とあるのは、具体的に何を指すのか。

答 12月には1kgあたり200円以上をつけていたホタテの価格が、3月には128円にまで下がっています。この状況が水揚げ高に大きく影響を与えていると考えられています。また近年の異常気象に伴う海水温などの変化が、ホタテのへい死・成長停止につながる

ことも懸念されています。

問 「ひつ迫する漁業経営」に対する支援策は。

答 近年、養殖施設にザラボヤ等の有害生物が付着しています。この処理には、以前より国の「有害生物漁業被害防止総合対策事業」の補助金が出ています。今後も漁業者の負担軽減のために、制度存続の要望を続けます。

問 直近の洞爺湖温泉の観光客入込数と24年度の予想数を伺いたい。

答 平成22年度の宿泊者数は約53万3千人。23年度は震災の影響もあり、約45万人（2月、3月分の推計を含む）。24年度は登別・洞爺湖広域観光圏のトップセールスや、映画「しあわせのパン」の公開後のロケ地めぐり、アニメフェスタ開催等による効果により、宿泊客は55万人に回復すると見込んでいます。

問 来年度は、洞爺湖温泉での新しいイベント開催を考えているのか。

答 9月1日から2日にかけて、「第50回全道サイクリング洞爺湖大会」が350人規模で開催される予定となっています。また、既存の大会ではありますが、北海道ツーデーマーチが25回目を迎え、記念の大会として開催されますので、内容を密にして実施したいと考えています。

問 1年前の定例会一般質問で「しあわせのパン」封切後の町の対応について尋ねたところ、町長より「看板の設置やロケ地の月浦地区には記念のモニタメントの設置も検討」との答弁があった。映画が封切となった今も何も出来ていないのは対応が遅い。映画の権利問題もあると思うが、早期にこれらを作るべきではないか。

答 映画のネーミングの使用等権利関係があり、それらの使用に関しての最終的な回答を頂いていない部分があります。観光のお客様からは、現地の看板が見当たらない等の指摘もあり、雪解けを待つて設置したいと考えています。また、ロケ地マップを2万部作製しましたが、こちらは好評で、増刷しなければならぬ状況にあります。



「しあわせのパン」ロケ地マップ

問 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種率は。

答 各ワクチンの接種率は次の通りです。

- ・子宮頸がん・約83%
 - ・ヒブ・約41%
 - ・小児用肺炎球菌・約43%
- 24年度はさらに啓発活動を進め、接種率を向上して参ります。

問 24年度予算で計上されている口腔がん検診推進事業について詳しく伺いたい。

答 昨年、北海道医師会が室蘭歯科医師会を実施機関としてモデル事業を行なったところ、50名の定員に対し80名の申し込みがあり、30名はお断りする事態となりました。平成24年度は3市3町の広域圏の中でこれを実施し、他のがんと同様早期発見、早期治療のための啓発活動を進めていく予定です。



大磯漁港26年に完成

沼田 松 夫 (侑志会)

質問 1

漁業振興策について

問 大磯漁港の完成が平成26年度になることが確定になってきたが、その後の利用計画について伺う。

答 基本的には養殖用地とか漁具用地、荷捌き場用地等ほぼ虹田漁港と同じ利用です。

問 15年経つと改めて見直しが必要と思うが、町の考えは。例えばナマコの養殖施設等考えてみてはどうか。

答 計画は漁協、道と協議して決め、見直しする時は改めて協議することになります。虹田前浜の漁業はホタテの養殖専用のため、従来からなかなか実現していないが、複合経営に向けナマコの漁礁も整備しました。また、ウニの養殖も漁協と進めており、漁業経営の安定化を図るために推進していく考えです。

問 今年もホタテにザラボヤなどが大量に付着しているか。

と聞くが、支援策を考えているか。

答 昨年同様、国の支援策を勘案しながら対処します。

質問 2

観光振興策について

問 泊・食分離は洞爺湖温泉においてどこまで進んでいるのか。

答 全体的には1%程度です。問題点は食を提供する飲食店が少ないこと。小規模の店では多くの客を受け入れ出来ないことから、今後関係機関との連携を図り、商品開発等を進め、地場産品の食材の活用など、多くのお客様を迎え入れる取り組みを考えていきます。

問 新しい長期間のイベントや新たな宿泊客獲得策を幅広く考える時が来ていると思うが、町の考えは。

答 洞爺湖温泉街でできる可能性は、費用や規模、当温泉の特色を生かせる事業を旅



平成26年度に完成予定の大磯漁港

質問 3

町営住宅の管理計画について

問 過去には清水団地の立て替え計画があったが、どうなっているのか。

答 平成21年に入居者の意見を聞いたところ、過半数

を超える方が「家賃が安く環境も良いのでこのまま住みたい」とのことから現状を維持してきました。耐用年数も過ぎているので、本年の町営住宅長寿命化計画の中で検討します。

問 町営住宅長寿命化計画や洞爺湖町住生活基本計画を策定するとあるが、民間の賃貸住宅はどのくらいあるのか。

答 民間借家226棟、650戸程度と想定しています。

問 退去時にはどのような検査を行っているのか。また、修理責任等トラブルはないか。

答 国交省のガイドラインにより、退去時の検査をし修理をしている。大きなトラブルはありません。

問 犬や猫の飼育はあるか。また、犬や猫と住める住宅は造れないか。

答 飼育は何件かあります。専用住宅は莫大な資金もかかり大変難しい。



農業研修センターの運営は 洞爺湖町の人口減の対策は

大 西 智 (侑志会)

質問 1

農業研修センター「とれた」の今後の運営について

問 技術職で行なわれている土壌分析の今後は。

答 センターの運営は運営委員会等で協議をし、業務を進めています。土壌分析、施肥設計指導は主要な事業との位置づけをしています。安定したデータが出せる職員が担当をし、過去のデータ蓄積、分析が生かされるよう今後も努力して参ります。

問 専門的な技術を持った職員の育成の考えは。

答 クリーン農業を推進していく中で、土壌分析は有効な手段と考えています。現在の職員が平成25年3月で定年を迎えますが、引き継ぐ職員の育成も欠かす事が出来ないと思っています。

洞爺地区では「農家の皆さんが職員を育ててくれた」との思いもあり、新町でもその精神はしっかり受け継ぎ、万全の対策を講じて参ります。

問 農業研修センターを核とした農業振興の考えは。

答 職員の能力を駆使し、農業知識や技術を若手農業者に習得してもらうための研修事業、育成事業を充実しようと考えています。

問 土壌分析データを基にした農地台帳作成の考えは。

答 農家の方々から協力を得ながら職員ともども早い時期に農業のデータベース、システム作りを考えていきます。



農業研修センターで行なわれている土壌分析

質問 2

洞爺湖町の人口減について

問 少子高齢化、出産率の低下をどう考えているか。

答 洞爺湖町の少子高齢化が進んでいるのは、町内の※生産者年齢が全国よりも9・5ポイント低いことや、子供の産める年齢層の方々が少ないのが原因かと思っています。人口がさらに減少しないように、積極的に定住対策に取り組まなければならないと考えています。その一つとして、住む場所や働く場所の確保、暮らしの情報発信の強化が必要と考えています。また、政策課題として、庁内の横断的な取り組みも必要と考えています。健康で安全な妊娠、出産の支援として14回の妊婦健診、超音波検査6回を公費助成で実施。育児不安の母親へのアドバイスなど、子育て支援の実施もしています。

問 人口減に対する町の具体的な取り組みはどのように考えているか。

答 若者の地元定住促進で新卒者やUターン、Iターンへの就職支援などの情報を発信したいと思っています。住環境対策としての生活路線バスの維持事業については、町営バス・民間バスを住民が利用しやすいようなバス運行を、24年度に検討する予定です。

問 観光業をツールとした定住対策の取り組みは。

答 交流をきっかけとした観光イベントであるコミニティパーティーとして「洞コン」を実施し、各方面から50組を超える方々の参加を得ました。今後は地域の活性化につながる手法の一つとして、「洞コン」の実施を含めて各事業を計画して参ります。

※生産者年齢とは

仕事や生産活動が出来る年齢の事で、一般的には15歳から64歳までの年齢を指します。

安心安全で活気のある街づくりを！

板垣 正人（公明党）



質問 1

24年度町政執行方針について

問 洞爺湖温泉大通り線の大
型車両通行による振動や
騒音の問題で、今できる改善
策を検討すべきでは。

答 舗装面がかなり傷んでい
て、段差等によって振動
や騒音が発生しています。今
後は、部分的な舗装を実施し
、改善していきます。また、ス
ピードダウンに協力してい
ただけのような喚起看板の設置
等も検討します。

問 災害時における被災者支
援システムの内容は。

答 被災したときに行政デー
タバックアップの機能や
被災者の氏名、住所等の基本
情報、被災状況の管理、また罹
災証明の発行等総合的に管理
できるものです。それと、町民
にわかりやすい冊子で具体的
な部分も知らせていく方法も
検討します。

問 AEDを民間施設の協力
を得て設置とあるがその
内容は。

答 温泉消防の統合、救急車
の減車による観光客や住
民への不安がある中で、24時
間使用可能なセブンイレブン
洞爺湖温泉店に、AED1台
を設置させて頂きたいと願
いして参りました。

問 洞爺湖地場産品協同組合
への町の支援内容と今後
の予定は。

答 運営費に対する定額助成
を行なうて、経営基盤の
強化を図っていきます。また
支援については、平成25年度
までの2カ年間の運営助成で
す。事業内容は、農産物・水産
物の地場産品を取り扱い、一
次加工、二次加工した形で提
供する予定です。

問 洞爺湖ガイドボランティア
ア観光ガイドについて町
の考えは。

答 公共施設のガイドだけで
はなく、活動経過を見据
えて、今後民間企業に対し
ても、検討します。

問 救急医療情報キット交付
事業についての進捗状況
と今後の対応は。

答 昨年の11月から開始して、
現在57世帯68名の交付状
況です。今後は、各種の集会に
出向いて交付の作業を進めま
す。また、各地域の民生委員や
自治会長などの協力も得なが

ら交付を進めます。

問 ジオパーク推進課の業務
内容と今後の予定は。

答 今までの協議会の目的達
成のための運営・維持・
発展、また関係団体との情報
交換や日本ジオパーク並びに
日本全国のジオパークの普及
促進に努め、さらに、大きな課
題であります再認定に向けて
の準備等です。



新設された「ジオパーク推進課」

議会を傍聴してみませんか

簡単な手続きで、どなたでも議会の
傍聴ができます。ぜひ一度傍聴にお越
しください。

次回定例会は
6月に開催を予
定しています。



問 ジオパークについて、町
民の認知度が低いと思わ
れるが、町としてのPR対策
は。

答 地域の方にジオパークを
知って頂くために、構成
市町でジオパークの輪が広
がるようなものを行っていきま
す。また、職員一丸で地域の方
、観光客の方に案内できるよう
努力します。

議会 報告会 を開催しました

3月の定例会において、平成24年度予算が決定いたしました。これを受け議会では、3月27日、洞爺地区、28日、洞爺湖温泉地区・本町地区の3会場で報告会を開催しました。

前回実施した町民の皆様との懇談会での質問、要望などへの議会の対応を説明し新たな要望を受けました。

お忙しい中参加して頂いた町民の皆様に、心より感謝申し上げます。頂いた意見・要望をできる限り町政に反映させるよう努めます。

今後も年に2回程度、懇談会を予定しておりますので、多数の参加並びに議会に対する指導をお願い申し上げます。

洞爺地域

説明

- 休止中の洞爺診療所を地域のために使えないか。
- 未整備の洞爺地区に防災無線を整備してほしい。
- 湖畔ぶちの道路が通行止めになることが多い。改善してほしい。
- 洞爺湖温泉観光協会の補助金の中に花火の費用が含まれているのか。また町の補助金増の要因は何か。
- 中島環境再生事業とはどのようなものか。
- 洞爺湖町内のエゾシカの農業被害はどれほどか。
- 「道の駅とや」の増築で、いかほど広くなるのか。
- 一般質問の概ねの所要時間を資料に掲載できないか。
- 庁内の機構改革で部制にした理由は。
- 洞爺総合支所に、ある程度の権限を持たせてほしい。
- 総合支所に農業振興課を作ったのはよい事だと思う。

意見

- 議会改革はどのように取り組んでいるのか、進捗状況は。
- 議員定数や報酬のあり方を検討すべきではないか。
- 町民の意見を聞きながら議会改革を進めて頂きたい。
- TTPと原発に対する意見を提出したと聞いた。提出前に住民説明会の開催を。

町へ

- 総合支所のロビーなどで議会中継してほしい。



議会中継の要望があった洞爺総合支所ロビー

調査

総務常任委員会所管

- 洞爺地区の旧公民館が相当に古く、今にも崩れそうな状況ではないか。ロープを張って立ち入れないようにしているが、解体すべきではないか。また、書籍等の保管は、休止中の診療所等を活用できないか。

経済常任委員会所管

- 洞爺湖温泉で長きに渡り「ロングラン花火大会」が開催されているが、費用対効果を検証すべきではないか。
- 湖水で打ち上げられている花火の環境に対する影響を調査すべき。



今年も行なわれるロングラン花火大会

- 小公園キャンプ場の炊事場を撤去することだが、調理で使う油を使うことから分離槽を必要とするのではないか。また、湖水の水質検査も行うべきではないか。
- 室蘭などでは廃屋対策が進んでいるが、洞爺湖町でも条例を作り、対策を講じるべきと思うが。

会場で頂いたご意見等は次のように分類いたしました。

説明

※頂いたご質問等にその場で説明させて頂いた事項

意見

※会場でご意見として伺った事項

町へ

※協議会等で精査し、町へ申し送りを済ませた事項

調査

※委員会の所管事務調査を行う事項で、今後の議会広報で報告する事項

洞爺湖温泉地域

説明

○子どもが興味を持てないような学習内容では学力レベルが上がらない。もっと興味を持った内容としてほしい。

○国も地方もこれからの日本を背負っていくのは青少年だ。それらに予算を使ってほしい。

意見

○議会で勉強した防災対策を今後の防災計画策定に活かしてほしい。

○姉妹都市箱根町の各集会所には、災害時の食料等を備蓄する備品庫がある。参考にすべきと思うが。

○町広報に掲載された虻田小学校6年生の洞爺湖温泉街の活性化に対する意見は目を見張るものがある。取り入れては。

虻田地域

説明

○津波ハザードマップ作成の業者は決まっているか。

○各地域で想定される震度が違うが、町内の学校耐震化の際に考えている震度は。

○早期健全化団体からの脱却の要因として、国からの交付税の増は大きいのか。

○24年度交付税の見込み額は。

○中島環境再生事業であるエゾシカ調査・駆除とはどのようなものか。



洞爺湖中島に生息するエゾシカ

意見

○中島エゾシカ対策について過去の経緯は。

○特別支援学級の児童生徒は何名ほどなのか。

○新年度の商工会への補助が増えているが、その理由は。

○地場産品協同組合の役割を教えて頂きたい。

○町提出の議案が議会で修正されたことはあるか。

○予算審議の資料やあり方について伺いたい。

○国から交付されるお金も国民の負担であることを認識すべき。町も安易な事業は控えるべきと思う。

○役場の機構改革が看板の付替えに終わらぬよう議会がチェックしてほしい。

○各補助金が予算計上されているが、もう少し集約してほしい。不要な予算は、たとえ10円でも切ってほしい。

○マンガアニメフェスタは、成果も上がっているし、とても良いイベントだと思う。

○ジオパーク推進課ができた

が、町民の認識は薄い。町民にとって身近なものとなるよう議会も努力されたい。



大勢の人で賑う昨年のマンガアニメフェスタ会場

町へ

調査

○町の図書館等を利用したときに、ポイントを貯めると図書券をもらえる制度がある。図書券の引き換えは、教育委員会事務局だけで行っていると聞いた。現場でもこの事務を行ったほうが良いと思うが。

○洞爺地区の観光パンフレットと温泉地区のパンフレットを相互に用意して、お互いの協力の中で観光客のニーズに応えていくべきと思う。

経済常任委員会所管

○「しあわせのパンはどこで買えるのか」という観光客の声を聞く。一ヶ所で作って各販売店で販売する手段を考えては。

※この他にもご意見、ご要望を頂きましたが、掲載しきれませんでした。ご容赦ください。

TPPから 食と地域を守る

胆振日高地域集會に参加

3月12日、「TPPから食と地域を守る胆振・日高地域集會」が開催されました。この集會は日胆管内農協組合長会や胆振地区漁協組合長会をはじめ、TPPに慎重な立場や反対の立場にある団体の共同主催で開催されたものです。会場は約千名の参加者でほぼ満席状態となりました。

当議会は予算議会の会期中でしたが、この日はちょうど休会日にあたり、8名の議員が参加することが出来ました。講演では、ノンフィクション作家関岡英之氏のTPPに参加した場合の弊害の大きさが語られていました。

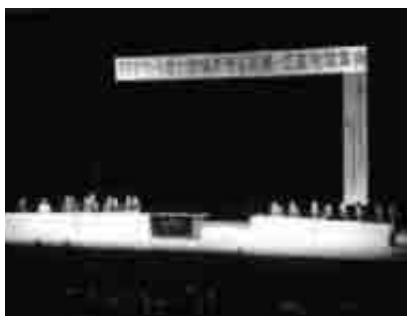
なお、洞爺湖町議会は、平成22年12月定例会において、「TPP（環太平洋経済連携協定）に反対する意見書」を採択し、わが国がTPPに参加する事に反対する考えを明確にしています。

三豊市との災害時相互応援 協定調印式及び親善交流報告

4月6日、友好都市香川県三豊市において東日本大震災を機に大規模災害に備え、友好都市交流等で地縁のある遠隔地と相互応援協定を締結し、友好都市交流の更なる充実と災害時における物資や人員の援助を行なっていく事を目的として応援協定締結を行うため、両市町の議会議長等の立ち会いのもと、両市町長により調印が行われました。

また、翌7日には、旧財田町出身の大久保謙之丞（おおくぼ じんのじょう）翁の偉業を讃えた「謙之丞まつり」に参加

させて頂きました。県会議員のあいさつの後に、真屋町長、そして私にもあいさつの場を設けて頂きました。洞爺湖町では雪が舞っていました。三豊市は桜が満開で、大勢の人でにぎわっており。今回の訪問では、三豊市長はじめ、議会関係者そして市民の方々には大変暖かく迎えて頂きました。旧財田町と旧洞爺村のご縁で、お互い合併したものの友好都市関係を継続させたこの絆を大事に、また繋げて行かなければならないと思いました。（千葉）



苫小牧市で開催されたTPPの地域集會

「議会だより」 表紙の作品を 募集します！

議会だよりの表紙に使用する「絵・写真」等を募集します。
詳しくは議会事務局まで
☎ 74-3011

表紙絵のご紹介



今回の議会だよりの表紙絵は、洞爺町在住の鈴木千賀子さんの作品です。

大久保 謙之丞（おおくぼ じんのじょう）

1849年（嘉永2年）～1891年（明治24年）

現在の香川県三豊市財田町出身。明治の政治家。明治初期に四国新道（現在の国道32号、33号の前身）・香川用水・瀬戸大橋を提唱したことで知られる。

私財を投じて道路・橋梁を整備、奨学資金の貸し付け、病院建設資金の寄贈等また、讃岐鉄道などを提唱、実行する。

また、自ら資金を出し、毎年数百人を北海道に移住させた。



災害時相互応援協定調印式

編集後記

4月17日、洞爺湖温泉観光協会が主催する「食に関する座談会」が開催された。山の幸、海の幸に恵まれた洞爺湖町の魅力をいかに引き出し、発信するのか！を語りあおうというもの。3月8日に引き続き2回目である。

農業生産者、ホテル業者や調理長、飲食業者、行政職員や議員など多種多様な参加者が、小グループに分かれて意見交換した。

グループごとの発表では、「食材が豊富にありながら地元での活用が進んでいない」のは何故か、共通してだされた意見は、「地元の人が地元食材を知ること」「生産者と消費者をつなぐ情報や物流のしくみを活性化させること」が大事だということです。

講演会とは違い、「ワークシヨップ」形式の話し合いは頭も活性化され、新たな発見や創造が見いだせる良い機会でした。議会でも、町の将来について理事者と向き合うだけでなく、議員同士でも活発な議論ができる仕組みづくりが必要なのかもしれない。

（立野）